

11月の米国大統領選挙といい、新型コロナウイルス感染症の第3波といい、世界中の混乱が収まる様相が見えてこないまま、今年も師走に突入しました。そんな暗澹たる気分打ちのめされそうになりますが、12月にはいつから、クリスマスのイルミネーションが街頭に少しずつ灯りはじめました。怒濤の1年を走馬灯のように思い返しつつ、来年こそはと、再び希望をもつところです。

さて、今月のトピックスとしては「花粉-食物アレルギー-症候群」と「皮下注免疫グロブリン製剤の在宅自己注射」の2つの課題について、総説では「睡眠負債」が子どもたちに及ぼす影響について解説していただきました。

また、今月の特集は「小児の耳鼻咽喉科疾患」です。鼻出血を含めた救急的観点、慢性咳嗽・副鼻腔炎・花粉症など小児科外来診療とのオーバーラップ領域、難聴・めまいなど神経系疾患領域、摂食嚥下障害など療育にも深く関連する領域など、小児総合

診療的に重要な内容について、多くの著名な先生にご執筆いただきました。小児総合診療の柱のひとつである小児救急領域では、内科系疾病だけではなく外科系外傷を含むことは周知のことです。私たちが小児救急の現場で診ている小児内科的疾患は、あくまでも小児救急のひとつの側面に過ぎないという気づきは大切かもしれません。今世紀にはいつから、わが国でもようやく、内因・外因を包括した小児救急の概念が浸透してきました。軽症頭部外傷を小児科医が初期診療して放射線被曝を最小限にする啓発をしたり、偏位の少ない骨折を小児科医が初期対応してより適切かつ安全な鎮静・鎮痛を提供したり、これらの対応を通して虐待事例をより確実に拾い上げたりするようになってきました。耳鼻咽喉科領域もこうした小児救急・総合診療において極めて重要な課題のひとつとなります。今回の特集が小児科医の皆様の日常診療に役立つことを願っております。

(清水 直樹)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第61巻 第13号 12月号
2020年 12月1日発行（毎月1回1日発行）
定価（本体2,700円＋税）

年間購読料金
定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14
Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕
Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕
Fax 03(3813)0288
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。